

工業経営研究学会 第33回全国大会

『グローバル化下のモノづくり革新』

2018年9月10日(月)～9月12日(水)
追手門学院大学 安威キャンパス

現在の「IoT」の進展や「インダストリー4.0」といった新しいモノづくりのフレームワークの中で、新たな競争時代が幕を開けようとしています。もちろんこれらの枠組みの広がり、グローバルな規模で企業活動にも影響力を持ち、また今後の新たな生産におけるプラットフォーム、デファクト・スタンダードをめぐる競争であるとも考えられます。このような環境のもと、廣瀬幹好 新会長は、3年間の統一論題テーマを「グローバル化下のモノづくり革新」に設定し、漸進的なイノベーションを超える創造的なイノベーションの可能性を探り、活力に満ちた日本企業の再生に貢献したいと表明されました。そこで、本大会では、この「グローバル化下のモノづくり革新」を統一論題とし、日本を含め各国、あるいは地域における新たな生産の取り組みを題材として、革新的工業経営の議論を深めたいと考えております。

第33回工業経営研究学会大会実行委員長
追手門学院大学 村上喜郁

◆大会日程◆

9月10日 (月)		13:00 -17:00	18:00 -20:00
		工場見学	理事会

9月11日 (火)	9:30 -9:45	10:00 -11:40	11:50 -12:50	13:00 -14:00	14:10 -15:15	15:30 -17:00	18:00 -20:00	
	開会式	自由論題	理事会	特別講演	自由論題	会員総会	懇親会	

9月12日 (水)	9:00 -9:35	9:40 -12:55	12:55 -13:40	13:50 -15:20	15:20 -15:30
	分科会	統一論題	理事会	シンポジウム	閉会式

大会実行委員会
村上喜郁

(実行委員会連絡先)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15
追手門学院大学経営学部 村上喜郁
asim33th@gmail.com

<2018年9月10日(月)>

13:00-17:00 工場見学(グローバルに活躍する京都府宇治市の中堅企業2社)

- (1) 長島精工株式会社 <http://www.nagashima-seiko.co.jp>
超精密CNC研削盤を主力とする工作機メーカー。
「繊細・洗練・優雅な伝統工芸の心を、超精密加工に生かす」がモットー。
- (2) HILLTOP 株式会社(旧社名 山本精工) <http://hilltop21.co.jp>
ITを駆使したアルミ精密機器部品の設計・試作、金型の設計・製造。「京都試作ネット」の中核を担う。「楽しくなければ仕事じゃない」をモットーに、若手が活躍。

(集合:12:45 近鉄京都線「大久保」駅改札口前)

18:00-20:00 理事会

メルパルク KYOTO 4F 研修室 (JR京都駅ビル北(烏丸口)東側に隣接)

<2018年9月11日(火)> 受付:追手門学院大学安威キャンパス 5号館 B1F ロビー

(9:00より受付開始) (今回の大会の会場は、すべて5号館に設けております)

9:30-9:45 開会式(5号館 6F 5606 教室)

10:00-11:40 自由論題報告(報告 20分、質疑応答 10分)

会場	A会場 (6F 5602教室)	B会場 (6F 5604 教室)	C会場 (6F 5605 教室)
司会	加藤 里美 (愛知工業大学)	宇山 翠 (岐阜大学)	下畑 浩二 (四国大学)
10:00-10:30	プロダクトライフサイクルの時代変化に対応する21世紀型工業経営成功戦略 平松 茂実 (平松技術士事務所)	スポーツ用品業界におけるEDI導入の現状 栢木 紀哉 (摂南大学)	海外における日系自動車企業の研究開発 畠山 俊宏 (摂南大学)
10:35-11:05	モノづくり革新のための人材確保と定着化への取り組み 安久 典宏 (キャリア・アナライジング研究所)	尾西毛織物業における小規模事業者の技術 大澤 圭吾 (大阪市立大学・院)	日本自動車企業における車体組立工程の変遷—部品標準化戦略との関係を中心に— 宇山 通(九州産業大学)
11:10-11:40	大学における初期情報教育の試みと評価—龍谷大学経営学部を事例として— 西岡 久充(龍谷大学) 寺島 和夫(龍谷大学)	地域性を意識したモノづくり経営に関する考察試論—福井経営モデルの事例より— 木野 龍太郎 (福井県立大学)	静脈産業における企業ネットワークの形成 牧 良明 (茨城大学)

11:50-12:50 理事会(8F 大会議室 AB)

13:00-14:00 特別講演(6F 5606 教室)

「グローバル化学工業の“ものづくり”」

牧野 信夫氏 株式会社マッキーコーポレーション取締役CEO

(元ハリマ化成株式会社専務取締役、ローター社会長)

14:10-15:15 自由論題報告(報告 20 分、質疑応答 10 分)

会場	A会場 (6F 5602教室)	B会場 (6F 5604 教室)	C会場 (6F 5605 教室)
司会	平松 茂実 (平松技術士事務所)	大平 義隆 (北海学園大学)	中瀬 哲史 (大阪市立大学)
14:10-14:40	製薬産業の現状 ーブロックバスター医薬品の 持続可能性を問うー 山口 祐司 (鹿児島県立短期大学)	二者間の交渉日本型「6つの解 モデル」と米国型「3つの解モ デル」 鄭 年皓(愛知淑徳大学) 金子 勝一(山梨学院大学) 山下 洋史(明治大学)	「第4次産業革命」と 工業経営の危機 野口 宏 (元関西大学)
14:45-15:15	日本化学産業におけるオペ レーターの技能形成 白浜 孝之 (大阪市立大学・院)	サービス産業におけるインクリメ ンタル・イノベーションと人材 ー多様な雇用形態と組織能力 の開発をめぐるー 池田 武俊(千葉商科大学)	ドイツの「第4次産業革命」 と工業経営の革新 ー自動化・モジュール化・ デジタル化・ネットワーク化 ー 風間 信隆(明治大学)

15:30-17:00 会員総会(6F 5606 教室)

18:00-20:00 懇親会

ホテル阪急エキスポパーク(大阪) (吹田市千里万博公園 1-5 06-6878-5151)

本学より懇親会場までのバスを用意いたしております。17:15 出発です。

直接会場へ来られる場合は、大阪モルルール「万博公園駅」が最寄り駅です。

<2018年9月12日(水)> 受付:追手門学院大学 5号館 6階 EVホール(8:45~)

9:00-9:35 研究分科会

会場	A会場 (6F 5602 教室)	B会場 (6F 5604 教室)	C会場 (6F 5605 教室)
主査	野村重信 (愛知工業大学)	鈴木幸毅 (駒澤大学)	地代憲弘 (追手門学院大学)
9:00-9:35	グローバリゼーション 研究分科会	環境経営学 研究分科会	人間・技術・情報 研究分科会

9:40-12:55 統一論題報告(6F 5606 教室)

9:40-10:00 統一論題「グローバリゼーション下のモノづくり革新」について

工業経営研究学会 会長 廣瀬 幹好

司 会：鈴木 良始(同志社大学)、藤原篤志(駒澤大学)

	報告者	報告タイトル
10:00-10:40	秋野 晶二 (立教大学)	アメリカにおけるモノづくりの現状とその歴史的位置 -アップル社の成長と生産体制の転換を例に-
10:45-11:25	布施 雄治 (千葉商科大学)	ドイツにおける「インダストリー4.0」構想-デジタル化とモノづくりの展望-
11:30-12:10	張 書文 (台湾東海大学)	グローバリゼーション下のモノづくり革新:台湾自転車と工作機械産業の事例研究
12:15-12:55	佐伯 靖雄 (立命館大学)	支援産業から見たマツダ『モノ造り革新』:オール広島体制の光と影

13:05-13:40 理事会(7F 中会議室)

13:50-15:20 統一論題シンポジウム(6F 5606 教室)

司 会：鈴木 良始、藤原篤志

報告者：秋野 晶二、布施 雄治、張 書文、佐伯 靖雄

15:20-15:30 閉会式(6F 5606 教室)

◆追手門学院大学(安威キャンパス)への交通案内◆
本学ホームページにてご確認ください。JR 茨木、阪急茨木からの
スクールバスにつきましても掲載いたしております。